

第402号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



夏は夏らしく



カット：本多紘子

梅雨明けも間近となり、しのぎがたい猛暑の夏がそこまでやっています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染流行が落ち着き、閉塞感に充ちていた世の中が開放的に再開するニュースが届き、閉塞感に充ちていた世の中が開放的になり嬉しい限りです。新型コロナウイルスの猛威で世界中の物流や人流が停滞し、混乱しました。その影響で観光旅行や飲食店の方々は、廃業に追い込まれた方々も多くあり悲惨でした。外出規制がゆるみ、観光旅行や故郷に帰省する人が増え、日本の夏も賑やかになりそうです。

今年に入り、食料品や日用品の価格だけでなく、電気代やガス代の使用料も急速に上がり、年金生活者や親元を離れて大学に通っている方は、非常に困惑しています。ウクライナに侵攻したロシアへの経済制裁が、石油やガスの資源がない日本に反転してかえり、物価の一段高にシングルマザーや若者達が喘ぎ何とかしたいものです。

若者達が現在や将来を失望する中で、将棋の藤井聡太六冠(20) Ⅱ 竜王・王位・叡王・棋王・王将・棋聖は6月1日、長野県高山村で指された第81期名人戦7番勝負第5局で渡辺明名人(39)を破り、4勝1敗で名人を20歳10ヶ月の若さで初獲得し、七冠となりました。谷川

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

浩司十七世名人(61)の最小年記録(21歳2ヶ月)を40年ぶりに更新し、1996年に羽生善治九段(52)が成し遂げた七冠の全冠制覇以来、史上二人目の七冠も最年少で達成し、将棋界を牽引していく姿は異次元の天才棋士という言葉だけでは表現できぬ素晴らしさです。

藤井新名人は愛知県瀬戸市出身、2016年に最年少の14歳2ヶ月でプロ入りし、史上5人目の「中学生棋士」になり、デビューから負け無しで29連勝という新記録を打ち立てました。藤井新名人は誰よりも突出して将棋好きで、「考える力」「集中力」「探求心」「対応力」「柔軟性」「局面の急所を捉える力」が他の棋士より突出し、驚異的な勝ち越し数をあげています。今後もAI(人工頭脳)で将棋を研究しながら、いくつになっても学びの情熱だけは失わないで欲しい。

お寺や神社の階段が9段で少し休み、また9段で少し休みながら登っていくところがありますが、10という数字は完熟したという意味があるので、10段にせず9段にしているそうです。諺に『満ちれば欠くる世の習い』とあり、「月が満月になるとしだいに欠けていくの意から、人間の世界も栄華を極めるとだんだん衰える」という譬えで、完成を嫌ったのです。十段と言わず、名人というのも乙なものですが、人間の若い時は「上り坂」、年をとれば「下り坂」と言われますが、もう一つの坂もあるようです。信頼する人に裏切られたり、事故や地震・洪水に遭遇したときの「まさか」です。人間は自分の思うようには生きられません。ある意味で「まさか」の連続です。

奈良の東大寺は『華嚴経』の学問道場です。『華嚴経』に「非常の言は、常人の耳にいらざ」とありますが、「非常識の言葉は、常識人の耳に入らず」ということで、つまり仏教の言葉は常でない精神状態に陥った時(非常)の救いの言葉だから、大きな悩みや苦しみのない普通の人(常人)の耳には入ってこないという意味です。人生の大きな壁にぶち当たったり、嵐に巻き込まれた時に、真剣に生きる意味や死に行く意味を仏教の言葉から学ぶのですよ。合掌(奥原曇龍)

『苦しみや悲しみの中を何故生きる その問いこそが仏道そのもの』 どんりゆう



カット：奥原綾

ともしび説法

日時・七月二十日「木曜日」 午前十時から十二時まで。
『歎異抄(たんにしょう)に学ぶ』
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 81

お釈迦様が今から2500年前に、インドの強国であったマガダ国の尼連禪河のほとりの森の中で6年間の厳しい修行をしたが、その苦行を中断して、菩提樹下で静かに冥想に入り、35歳のときにさとりを開かれました。

さとりの内容とは、現実の苦しみと、その原因理由と、苦しみのなくなった浄福の状態と、それに至る手段方法との、4つの真理(四諦)を考察し、実践することであった。

この真理を伝えるために、仏教教団が成立していくのですが、お釈迦様は出家して教団で修行するのは男性だけと思っていたので、比丘尼(女性)の出家は考えておらず、弟子のアナンダの説得で女性も受け入れます。

ダンマディンナーはマガダ国の首都王舎城の一家長の妻であった。彼女の夫ヴィサーカは、お釈迦様の説法を聞いて無上の喜びを得たので、熱心な仏教信者となった。

このことを知らなかった妻は、夫から優しくしてもらい、世俗の欲を楽しむことを期待していたのに、にわかには夫の態度がよそよそしく変わったので、自分への愛情がなくなっってしまったのかと疑い、その理由を問うと、仏教への信仰から、世俗の欲情が失われてきたことを告げ、妻に対しても、自分で自由な身を処置してもよいと告げたので、彼女は仏教教団に出家の決意を語ります。

比丘尼教団に出家した彼女は、熱心な研学と修行とによって、まもなく阿羅漢果を得ます。そして精舎(寺)にとどまるよりも、親族の人たちを教化したいと思い、もとの家に戻ります。夫は彼女が出家を嫌って戻ってきたのではないかと疑いますが、彼女に仏教の教理的な質問をしますと、彼女はよどみなく明快に答えたので、夫は驚きます。

夫はこのことをお釈迦様に告げますと、彼女の智慧を賞賛され、比丘尼中での説法第一とまで讃えられたのです。合掌(奥原曇龍)

浴衣着る孫と手つなぎ花火見る

屋台を照らすともしびほのぼの

田辺多恵子



6月4日 総代さんたちによる心光寺本堂の仏具磨き

ともしび法話

梅雨が明ければ、猛暑の夏です。うだるような暑さのなかで、暴飲暴食や熱中症に気をつけたいものです。子供たちも夏休みが待ち遠しいですが、親は大変ですね。お寺も、お盆参りやお盆合同法要の準備中です。宜しくお願い申し上げます。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

「盆参り住職急ぐ次の家

汗をかきかき声もしわがれ」

曇龍先生、一年中で一番忙しいお寺の行事ですが、お身体を大切にしてください。

倉敷市西坂 貝原富美子

住職様、毎月の「ともしび」は世の中の動きをよく観察されて、タイムリーなコメントに感謝しています。コロナも一段落して、隣人たちと心安らかに送りたいです。

都窪郡早島 金丸 龍美

「灯り初めしバスターミナル

雨粒を光らせ一台が故郷に向かふ」

昔、バス停で湯郷行きのバスが発車し、私の故郷に向かっていった情景の歌です。

岡山市箕島 樋之津保子

ともしび説法

日時・七月 二十日「木曜日」 午前十時から十二時まで。

「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

八月二十三日(水)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。

九月十五日(金)・午前十時から十二時まで・早高の本堂。

十月二十日(金)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。

ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



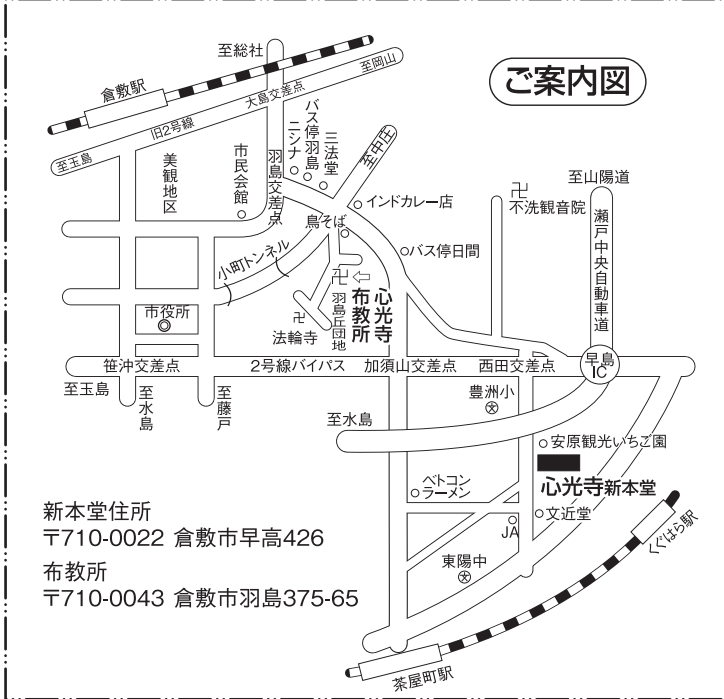
こころの詩

梅雨が明ければ 猛暑の夏
たまらない程の うだる暑さ
地球の環境が変わりすぎたのか
常に便利さと豊かさを求め
天や地に恥じることもなく
とかく自分の欲望に走る
ああ 人間よ 人間よ



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。倉敷市 細見令恵様 1万円



倉敷市 細見令恵様 1万円

新本堂住所
〒710-0022 倉敷市早高426
布教所
〒710-0043 倉敷市羽島375-65

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「402号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦